

スポーツ交流から、幅広い分野での友好交流協定締結へ 熊本県八代市×台湾・新竹市

事業 分類	姉妹	教育	文化	スポーツ	保健・福祉・医療	経済
	都市	行政	ホストタウン	外国人技能実習	オンライン	その他
自治体	日本：熊本県八代市			海外：台湾 新竹市		

【事例紹介】

1 友好交流協定締結までの経緯

従前よりバドミントンによるスポーツ交流を両市市民レベルで実施しており、その後、行政交流を視野に入れ、台北駐大阪経済文化弁事処福岡分処に相談したところ、新竹市への正式な紹介を受け、八代市長が新竹市長を表敬訪問し、今後の交流について両市の合意が得られたことから、友好交流協定の締結に至りました。

新竹市の意向により 2024 年度中の締結を目指す中、東京ビックサイトで開催された「ツーリズム EXPO ジャパン 2024」の台湾ブースへ新竹市が出展する機会に合わせて、2024 年 9 月 29 日に友好交流協定の締結式を実施しました。友好交流協定締結後、2025 年 1 月には、交流事業の具体的な内容を定めた覚書を締結し、教育や文化、産業などの分野での実務的な協力体制を整備しました。

2 提携意思確認後～締結式まで

2024 年 7 月に八代市担当者が新竹市へ訪問、協定締結式に向けた事務協議を行いました。締結式後、2024 年 9 月市議会定例会にて友好交流協定締結に関する報告を行いました。日本での締結式実施でしたが、ツーリズム EXPO ジャパン 2024 台湾ブース内での実施ということもあり、新竹市にも協力してもらいながら準備を進めました。締結式当日は、八代市長・新竹市長代理だけでなく、立会人として台北駐日経済文化代表処横浜分処長が同席されました。

3 事業運営体制と継続の工夫

友好交流協定 1 周年記念事業として、2025 年 9 月に新竹市で「八代港セミナー in 台湾」を、八代市では「台湾文化芸術コンサート」を開催しました。また、同年 12 月には新竹市政府代表団が初めて八代市を訪問し、2026 年度の交流計画について両市で確認を行いました。さらに、2026 年 2 月には八代市長を団長として公募した市民や民間団体を含めた約 60 名の市民使節団が新竹市を訪問し、市内視察のほか市民同士の交流を行いました。そのほか交流の原点であるバドミントンを通じた青少年交流も継続しており、両市の小中学生による交流大会や相互訪問が行われるなど、市民レベルでの交流が広がっています。

今後は、お互いの都市の認知度向上や市民交流の活性化、また経済団体の交流促進を行っていく方針です。

(次頁へ続く)



八代港セミナーin台湾



台湾文化芸術コンサート



八代市民使節団 新竹市政府表敬訪問

(作成年月：2026年6月)

※事例紹介に掲載されております人口、面積等の情報は作成年月時で公表された数値です。また、ホームページのリンク先、掲載動画等につきましては、自治体のホームページの更新等によりリンク切れになっている場合があります。